

令和7年度第2回川崎市上下水道事業経営審議委員会 会議録

【開催日時】

令和7年8月29日（金） 15:00～17:10

【開催場所】

川崎市役所南庁舎18階大会議室

※オンライン（Zoom）併用開催

【議題】

- （1）次期上下水道ビジョン・中期計画の策定について（公開）
- （2）末吉配水池におけるオフサイトPPAモデルによる太陽光発電事業について（非公開）

【出席者】

- （1）委員会委員（敬省略）※オンライン出席者

磯貝和敏、井出多加子※、鎌田素之、長岡裕、中野英夫、西川雅史※、見山謙一郎、島田典子、舘克則、平井めぐみ※、伊藤真冬、山下美穂※

- （2）上下水道局職員

上下水道事業管理者、担当理事・下水道部長、経営戦略・危機管理室長、総務部長、総務部担当部長（財務担当）、サービス推進部長、水道部長、水管理センター所長、経営戦略・危機管理室担当課長〔経営戦略・企画調整〕、経営戦略・危機管理室担当課長〔資産マネジメント〕、経営戦略・危機管理室担当課長〔行政改革推進〕、庶務課長、財務課長、財務課担当課長〔下水道財務・財源〕、サービス推進課長、水道計画課長、下水道計画課長

【傍聴者】

4人

【議事内容】

次のとおり

事務局 定刻となりましたので、令和7年度第2回川崎市上下水道事業経営審議委員会を始め（経営戦略・危機管理室長）ます。私は、事務局を務めます、経営戦略・危機管理室の森川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議につきましては、オンラインと併せての開催となっており、井出委員、西川委員、平井委員、山下委員におかれましては、オンラインで御出席いただいております。オンラインで御出席の皆様、音声は聞こえておりますでしょうか。

なお、本日の会議でございますが、議題1につきましては、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定に基づき、公開いたしますので御了承願います。

議題2につきましては、同条例第5条第3号及び第4号に規定しております、「川崎市

内部の審議、検討又は協議に関する事項であり、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、又は契約事務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれ」に該当します。委員の皆様は事前に了承を得ておりますので、非公開といたします。

また、会議終了後、議事録を作成いたしますが、非公開の議題２を除いて原則公開となっておりますので、事務局で作成後、各委員に内容を確認していただいたのち、確定させてまいりたいと考えております。

なお、本日は傍聴の申し出がございますので、傍聴人の入室を認めてよろしいでしょうか。それでは、傍聴人の方に入室していただきます。

傍聴人の皆様へご連絡いたします。本会議の議題２につきましては、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」の第５条「非公開とすることができる会議」に該当するため、非公開となります。議題１の終了後に御退出いただきますようお願い申し上げます。

次に、オンラインで御出席の皆様は資料につきましては、御説明の際に画面共有をさせていただきます。事前に電子ファイルでお送りした資料につきましても、必要に応じて御確認いただければと存じます。

また、ネットワークへの負荷低減のため、事務局からの説明の時間などにつきましては、ビデオを停止し、マイクをミュートにさせていただきますよう、お願いいたします。

なお、御発言の際は、ビデオを開始し、挙手いただくか、挙手ボタンを押していただきますよう、お願いいたします。委員長から指名いたしますので、御発言をお願いいたします。

続きまして、会場にいらっしゃる委員の皆様の資料につきましては、皆様のお手元にございますタブレットで閲覧していただきますので、操作方法等について御不明な点等ございましたら、随時、お近くの事務局職員にお声掛けくださいますようお願いいたします。また、御発言の際には、オンライン出席者にも声が聞こえるよう、マイクを近づけて御発言くださるようお願い申し上げます

それでは、次第に沿って進めます。

はじめに、白鳥上下水道事業管理者からごあいさつを申し上げます。

事業管理者

皆様、こんにちは。ただいま御紹介に預かりました白鳥と申します。

本日はご多用のところ、また非常に暑い中御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本年度２回目の経営審議委員会ということで、開催にあたりまして一言御挨拶させていただきたいと思います。本日の議題ですが、メインは次期上下水道ビジョン等になります。前回いただいた御意見を踏まえまして、今回素案という形で御説明させていただきますので、本日も御意見をいただけたらと思っております。

また、本日はもう１点、末吉配水池の太陽光発電事業についてになりますが、こちらは再生可能エネルギー拡大に向けた取組で地球温暖化対策、カーボンニュートラルに向けた大変重要な政策課題となっておりますので、進めていくべきではありますが、一方で上下水道事業は公営企業として市民の皆様からいただく水道料金や下水道使用料をもとに行っている事業でありますので、コストも最重要課題となっております。そのバランスをどう見るべきか、我々の判断が迷うところがございますので、御説明させていただき、率直な御意見をいただきたいと思います。

限られた時間ではございますが、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長 (経営戦略・危機管理室長) 次に長岡委員長から一言御挨拶をいただければと存じます。

長岡委員長 長岡委員長よりよろしくお願いいたします。

長岡委員長 今日はお忙しい中、また暑い中ありがとうございます。

皆様ご存じの通り、八潮市の陥没事故や下水道点検作業中の事故など、上下水道含めライフラインの大多数は地下にあるということや難しさを、市民の方に知らせなければと強く思います。上下水道にとって難しい時代にはなりますが、対策や難しさを市民のアピールしていかなければならないと思っております。

1 か月ほど前に大阪で行われた下水道展に参加して、ロボットやドローンなど最先端技術を目にして、上下水道でも技術革新の波が押し寄せて来ているのだと実感したところです。こういった状況のなか、「上下水道ビジョン」が1つの大きな議題になりますが、長期的な視点に立ち、本日も多方面からの貴重な御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局長 (経営戦略・危機管理室長) 続きまして、経営審議委員会委員の退任報告及び後任の委員をご紹介します。

約4年に渡り経営審議委員会委員として御尽力くださいました、渡部委員におかれましては、組織内の役割変更に伴う辞職願の申し出により、令和7年6月12日をもって委員を退任されました。

また、退任に伴いまして同団体から、後任の委員の推薦をいただき、委嘱させていただきましたので、ご紹介いたします。

「川崎市上下水道事業経営審議委員会委員名簿」をご覧ください。名簿は区分ごとに50音順に作成しておりまして、団体推薦の区分の上から5番目に記載があります、川崎市生活協同組合運営協議会 監事の「平井 めぐみ（ヒライ メグミ）様」でございます。

なお、任期につきましては、令和7年7月1日から令和8年9月30日までとなっております。平井委員、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、要綱によりまして、委員長が議長となりますので、ここからの会議の進行につきましては委員長、よろしくお願いいたします。

長岡委員長 それでは、本日の議題に入らせていただきます。

議題1の「次期上下水道ビジョン・中期計画の策定について」、事務局から説明をお願いいたします。

経営戦略・危機管理室担当課長 (資料1～3を説明)

長岡委員長 ただ今の議題の説明について、御意見・御質問等ございましたら、お願いいたします。また、オンラインで御出席の方におかれましては、御意見・御質問等ございましたら、挙手ボタンまたはカメラをオンにいただき、挙手をお願いいたします。

磯貝委員 資料2の重点項目は、市民へのアンケートを行った結果などを踏まえて選定したのでしょうか。

経営戦略・危機管理室担当課長 市民の皆様の御意見だけでなく、次期計画期間である今後4年間の状況を踏まえて、力を入れていかなければならないものを選んで、重点課題を設定させていただいております。

磯貝委員 十分意見を反映したということですね。

長岡委員長 重点箇所とそうでない箇所の違いは何となく分かりますが、どういう違いがあるのか

気になりました。

経営戦略・危機管理室担当課長

現在作業している中でコンパクト化を意識して策定していますが、それでもボリュームがあるため、上下水道局は何に力を入れていくかということを経営的に分かりやすく見せるという観点で、重点を設定した経緯もあります。重点を設定した意味合いなどは、今後補足をしていきます。

中 野 委 員

施策1から順番に並んでいますが、優先順位を考えた並びなのでしょうか。上から順に目を通していく読み手としたら、施策2の「県内水道事業者等との広域連携」よりも、施策3の「老朽化対策」や施策6の「浸水対策」が項目として先にあった方が、重視している項目であると感じるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

経営戦略・危機管理室担当課長

この順番は、ビジョンの将来像や12年間の方向性の説明順と関連付けて施策と取組を示しています。資料1のP23に、上下水道ビジョンの全体像に施策体系がありますので御確認ください。

伊 藤 委 員

資料1ですが、表やグラフがあって見やすい資料だと感じました。

また、資料1のP22お客さまの意識とサービスについて、出典に川崎市上下水道局市民意識調査とありますが、いつ行ったどういう調査なのでしょう。

経営戦略・危機管理室担当課長

令和6年度に市民意識調査を実施し、令和6年11月に調査結果の報告書が出ていますので、その内容をP22に掲載しています。この調査は定例的に行っています。

伊 藤 委 員

上下水道局のイベントで行っている調査なのか、新聞等に掲載されている調査なのか、どのような方法で行われたのでしょうか。

経営戦略・危機管理室担当課長

調査方法については、18歳以上の無作為に抽出した川崎市民3000人あてに、郵送配布、インターネットの併用で調査を行いました。6月3日から6月26日の期間で実施し、1546件の回答を回収しました。

長 岡 委 員 長

P22の川崎市の水道・下水道事業内容に対する満足度を見ると、どの項目もほぼ同じ割合なので、もう少しメリハリのある割合結果であっても良いと感じました。回答の分析はされているのでしょうか。

経営戦略・危機管理室担当課長

「満足している」と「ほぼ満足している」を全て合計すると平均で約7割となっておりますが、「広報・広聴活動」だけ見ると少し低い値になりますので、その点を踏まえて広報・広聴活動をしっかり行っていく方針です。

長 岡 委 員 長

情報発信が足りないと思いますので、新しい発信方法や若い人の意見を取り入れた発信方法について検討しても良いと思います。

経営戦略・危機管理室長

広報活動については局で力を入れているところでして、若い人の意見を取り入れたり、また特にSNSに力を入れておりますので、委員の皆様にもX（エックス）の投稿を見ていただければと思います。

館 委 員

資料1のP25②強靱の1つ目の「災害が起きても、水を安心して使うことができます。」と、P26災害への備えがあるうえで、資料2のP3の取組21「水道・工業用水道施設の停電対策」について、災害対策として耐震化・耐水化は大事だと思いますが、ポンプを使うために電気も大事だと思います。電気がなくても水は供給できるのでしょうか。もしそうでなければ、この取組も重点取組としても良いと感じました。

水道計画課長

給水区域（配水量）の8割程度は自然流下で水を送っていて、高低差のある箇所は水を送るためにポンプを使用するため電気が必要となります。また水を浄化するための浄水

場でも同じく電気は必要となりますが、川崎市は水道用・工業用水道施設においては、非常用自家発電設備は必要な場所には既に設置をしております。ただ、東日本大震災などの状況を踏まえて、元々24時間の燃料を確保するようにしていたところを、72時間確保できるように施設を設計していくということになっております。新たに設置するのではなく、既設のものを増強していくことから、重点マークはつけない整理をしています。

見 山 委 員 重点取組は投資かコスト、どちらかの視点で考えると投資に該当すると思います。有事を想定した政策をつくっていく中で、将来に備えるということは投資につながっていきます。例えば、地球温暖化対策がコストに見なされるのであれば重点ではないと思います。将来必要であり投資に該当するかどうかしっかりと議論をしていくべきだと思います。

経営戦略・危機管理室担当課長 御意見を踏まえて重点項目を設定していきたいと思います。

山 下 委 員 資料1のP15「世界の水と衛生」について、他の資料は川崎市の話があるのに対して、この項目だけ川崎市について書かれていないので、川崎市がこういうことをしていますということがあれば記載した方が良いと思いました。

資料2のP2の取組15「下水管きよの維持管理」について、八潮市の陥没事故を受けて点検等をしていくという説明がありましたが、深掘りして記載していくのであれば、陥没事故がなぜ起きたのか、どういうところで起きたのか、だから川崎市はこういう取組をしていくと記載した方が、より市民の方には分かりやすいと感じました。

経営戦略・危機管理室担当課長 「世界の水と衛生」については、全体的な課題、日本の上下水道という視点で記載していますので、川崎市の取組については、次期中期計画の取組でお示しできればと考えております。

下水道計画課長 下水管きよの老朽化対策については、老朽化した管きよや腐食のリスクが高い管などを点検していくなど、具体的な取組が分かるよう追記させていただきたいと思います。

長 岡 委 員 長 市民の方の関心が高い内容になると思いますので、市民の不安を取り除くような記載をしてもらいたいと思います。

見 山 委 員 地球温暖化対策ではなく、気候変動対策にした方が良いのではないかと思います。

中 野 委 員 資料2の施策2「県内水道事業者等との広域連携」に違和感があります。他の施策は「対策」とあるのに、ここだけ広域連携となっていて、これは手段になるのではないのでしょうか。どちらかと言うと、取組名の「最適な水道システムの実現に向けた取組」が施策になって、広域連携は取組になるのではないのでしょうか。

また、施策4の維持管理とありますが、維持管理だけだと、伝わりにくく、現状と課題にもある、「効果的かつ効率的な維持管理」とした方が伝わりやすくアピールにもなるのではないかと思います。

長 岡 委 員 長 広域連携は手段になるので、私も違和感がありました。検討してみても良いと思いました。

鎌 田 委 員 SDGsの話（資料1P15「世界の水と衛生」）で2030年までとありましたが、川崎市上下水道ビジョンは2037年までの内容なので、川崎市上下水道局としてはどのようにSDGsを盛り込んでいくのか教えていただければと思います。ウェルビーイングなどの話もありますので、そこも含めてご検討ください。

経営戦略・危機管理室担当課長 検討させていただきます。

館 委 員 気候変動の話がありましたが、川崎市がどれくらいの降雨量なのかということと、豪雨でマンホールが噴き出す映像を見ますが、あれはなぜ起きるのか教えていただけますでしょうか。

下水道計画課長 現在、降雨量は 52 mm、58 mm と徐々に整備水準をあげていき、近年の気候変動を踏まえ、92 mm でも床上浸水が生じない対策をこれまでも行っています。将来の気候変動で降雨量が増えると思いますので、そうした対策を今後行っていくことが重要だと考えています。

また、マンホールの浮上ですが、限られた空間に雨が急激に入ること、水圧やもともと入っていた空気に圧力がかかってマンホールが飛ぶという事象です。川崎市はマンホールが浮いても飛ばないように浮上防止型というものを取り入れていて、圧力を逃がす仕組みにしています。

島 田 委 員 近所の道路が斜めになっているところに新しいマンションができ、地下に水を貯蔵していましたが、上下水道局で指示を出しているのでしょうか。

下水道計画課長 新しくマンションが作られた際に、急激な雨が降っても、道路や下水管路に一気に流れ出ないように溜めておく雨水流出抑制施設というもので、下流の下水道の管や川を守ったりするために、地下に貯留域をつくってもらっています。川崎市内全域の一定規模のマンションを作る際は設置するように、川崎市から働きかけたものだと思います。

長 岡 委 員 長 以上でよろしいでしょうか。

それでは、議題 2 に移る前に休憩がありますので、事務局にお返しいたします。

事 務 局 ただいまから、5 分間の休憩にしたいと存じます。恐れ入りますが、議題 2 は非公開となっておりますので、傍聴人の皆様は御退出をお願い申し上げます。委員の皆様は、5 分後に再開いたしますのでお戻りいただきますようお願い申し上げます。

それでは、休憩に入ります。

<非公開>

事 務 局 それでは、以上で本日の会議を終了したいと思います。

(経営戦略・危機管理室長) 次回の経営審議委員会につきましては、10 月下旬ごろの開催を予定しております。後日、皆様と日程調整をさせていただきながら決定したいと考えておりますので、その際は御協力をお願いいたします。

また、部会員の方におかれましては、来週 9 月 2 日に第 7 回の部会を開催いたしますので、お忙しいところ恐れ入りますが、そちらについても御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、本日はありがとうございました。